

## 日本共産党 石田 秀三 議員



### 1 市立幼稚園の統廃合について

**質問1** 幼稚園再編整備委員会の答申は、中学校区ごとに1か所に統廃合するとしているが、なぜ中学校区なのか。①幼児の生活圏は広くても小学校区程度である。②私立幼稚園や公私立保育園は、中学校区と関係なく各地から幼児を集めているのに、公立幼稚園の幼児だけを中学校区で統合するのは無理があり、「保幼小中の連携」といっても条件がない。③保育園は入所条件があり、幼稚園が廃止されても近くの保育園には入れず、行く所がなくなる。再編整備計

画に当たっては、関係者、地域、特に廃止対象園の声を聞くことを求める。

**答弁1** ほとんどの幼稚園で定員を下回っている状態があり、適正規模の集団で教育を行う人数を確保するためには、広い範囲で園児募集を行う必要がある。どの中学校区にも最低1か所は幼稚園があるようにする。また義務教育終了までの保幼小中の連携を、中学校区を単位に強化する。答申を受けての再編整備計画策定に当たっては、市民の要望を聞き、地元に入って丁寧に説明していく。



市立幼稚園

## 緑風会 彦坂 公之 議員



### 1 負担金の見直しについて

**質問1** 国・県などが出資する諸団体への参加、加盟等に係る負担金について問う。諸団体への負担金について、その必要性の再検討、負担金の内容の再確認は行っているか。政権交代による変化などもあり、精査すれば不要なものがあるのではないか。

**答弁1** 予算総額、559億9,230万円のうち負担金は、60億を超え、10.8%を占めている。これら負担金の中には、県営事業負担金や、鈴鹿亀山地区広域連合負担金などの大きな額のものから、研修負

担金などの少額のものまで、様々なものが計上されている。このうち、諸団体への参加、加盟等に係る負担金については、およそ4,500万円の計上となっており、対象団体の数は約180余りである。負担割合についても、均等割、人口割など、団体により、個々に決められている。これらの負担金の必要性や、その内容の確認については、関係部署において、十分に検証を行い、予算計上しているところであるが、市の財政状況が、非常に厳しいものとなっており、法令等で負担を義務付けられている経費についても、過度の負担となっていないか、諸団体への負担金については、その維持運営のために、漠然と支出していないか、政権交代などの状況変化により、不要となっていないかなど、今一度検討を行い、負担金の必要性や、その内容の確認について、検証を行いたい。

## あくていぶ21 竹口 眞睦 議員



- ### 1 新型インフルエンザ対策について
- (1) 市民に事実を早く公開すべき
  - (2) 必要ワクチンは充分足りてるか
  - (3) 幼小中高での罹患状況は
  - (4) 新型インフルエンザ蔓延の対策

**質問1(1)** 一番大事なのは事実を即座に公開する。

**答弁1(1)** 市民への情報発信や啓発はホームページ、すずかボイスFM、広報すずか、折込チラシなどの媒体を用い、迅速に行っている。

**質問1(2)** 必要なワクチンは充分足りているか。

**答弁1(2)** 厚生労働省が人口比率に応じて配分量を決定。一回目医療従事者用7,448人分をはじめ11月までで四回、合計133,688人

分が配分された。配分量は各医療機関の申請の約3割程度で、不足している。各市町への配分量は公表されていない。

**質問1(3)** 幼・小・中・高での罹患状況は。

**答弁1(3)** 二学期以降の状況で9月は毎日数名程度、10月は特に中学生の欠席が急増して938人。学校行事集会等は延期。早期受診や自宅療養対策で一時鎮静化。11月末再び急増し742人。市内5高校の欠席者は92人である。

**質問1(4)** 新型インフルエンザ蔓延対策について。

**答弁1(4)** 接種費用助成。国の示した優先順位者のうち、医療従事者等を除く対象者に助成する。対象者のうち、低所得者には全額、それ以外は1,000円を助成。応急診療所は流行が沈静化するまで、土曜の夜間、日曜の昼間夜間は医師二人の二診体制で診療を行う。

## 公明党 伊藤 寿一 議員



- ### 1 薬物乱用防止について
- ### 2 道路補修工事について
- (1) 積み上げ方式のあり方について
  - (2) 側溝との段差解消は

**質問1** 10年前、一般質問で薬物乱用防止キャラバンカー招致を提言したが、10年間で中学校に1回しか招致していない。中学時代の3年間に必ず1度はキャラバンカー体験をすることが重要だと思うが。



薬物乱用防止キャラバンカー

**答弁1** キャラバンカーは全国に8台。中部は岐阜に1台待機。平成22年当初に申し込みをし、中学校に招致していきたい。

**質問2(1)** 1度2度3度と舗装を重ねていくと、道路面がかまぼこ状態になり、高さが15~20cmにもなると、車や人の通行にも大へん危険である。市内に多く見られる。この現状をどう考えているか。

**答弁2(1)** かまぼこ道路の補修は、現地に合った安全な道路形態を維持できるよう効率的に順次改善を行い、歩行者の安全確保を図っていく。

**質問2(2)** 道路と側溝の段差箇所が市内には多くあり危険である。

**答弁2(2)** 自治会からの要望を受け、人家密集区域では側溝の改良と蓋かけを合わせ、生活道路の改良工事を実施し段差の解消を図っている。